

Course number		U-LAS54 10008 LJ13					
Course title (and course title in English)		ビッグデータ分析による問題解決実践 Problem solving practice by big data analysis		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Academic Center for Computing and Media Studies Professor, KOYAMADA KOUJI	
Group		Career Development		Field(Classification)		Other Career Development Courses	
Language of instruction		Japanese		Old group		Number of credits 2	
Number of weekly time blocks		1		Class style Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2024・First semester	
Days and periods		Thu.5		Target year Mainly 1st & 2nd year students		Eligible students For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>本授業では、社会ニーズの可視化を通して、世界のかかえる課題を明らかにして、その課題を解決する方法をデザインする。デザインされた解決策をローカルな視点も含めた形で評価し、その評価結果を反映させた解決策を地域関係者に提示して、その有効性について評価する。具体的には、2015年9月の国連総会で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）をあるべき姿として、現状とのギャップを明らかにし、そこで認識された課題に対して解決策をデザインし、その有効性を検討させる。</p>							
[Course objectives]							
<p>この科目を履修し、学修目的を達成した結果、社会ニーズの可視化を用いて、世界のかかえる課題の解決策をデザインできるようになる。解決策デザインの実践のために、科学的方法を利活用できるようになる。また、社会調査に必要な基本的素養を身につけ、科学的方法における仮説検証で必要となるデータとしては、各種オープンデータ、そして必要な場合には、学生自ら取得したデータを利用できるようになる。</p>							
[Course schedule and contents]							
<p>以下のような課題についてフィードバックを含め全15回の授業を実施する。(各回1-3コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SDGs（持続可能な開発目標）の理解。グループ討議による問題意識の洗い出しと共有。 2. 実証研究の進め方と科学論文の構成（IMRAD）、社会調査の方法の学習。 3. テーマを具体化するための地域関係者による講義・討論。 4. 情報収集(地域関係者による講義、討論・学术论文の検索と評価) 5. 情報整理(アンケート調査の実施：学生、自治体、地域住民、観光客など対象) 6. 情報分析・表現(Excelを使った情報分析、Wordを使った論文形式レポート作成、ピアレビュー、PowerPointによる発表) 7. 最終発表(日本語による口頭発表、表彰) 8. フィードバック【1回】 							
[Course requirements]							
<p>インターネット、電子メール、ワープロ、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトについて利用経験がある、もしくは授業期間内に自習できること。</p>							
<div>-----</div> <div>Continue to ビッグデータ分析による問題解決実践(2)</div>							

ビッグデータ分析による問題解決実践(2)

[Evaluation methods and policy]

別途ホームページで指示する執筆要領に従って執筆された研究成果レポート（60％）とグループディスカッションにおける積極性等（40％）を考慮して成績評価を行なう。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

『研究ベース学習』（コロナ社）ISBN:139784339077933

[Study outside of class (preparation and review)]

学生個人が関心をもつ社会的課題を授業前に調査し、授業中には、それらをクラスメンバーと共有しておく。その時にうけるフィードバックを受けて、授業後に追加的調査を行う。

[Other information (office hours, etc.)]